令 和 ５ 年 ９ 月 11 日
福井県エネルギー環境部自然環境課

令和５年度 堅果類の豊凶状況および出没予測について

１　堅果類の豊凶状況

◯高標高域（奥山）

・ブ　　ナ：県内 13 地点、260 本を調査し、20%の調査木の着果を確認
県全体の作柄※は**凶作**
地点ごとの作柄は、豊作・並作は 0 地点、不作３地点、凶作 10 地点

・ミズナラ：県内 14 地点、280 本を調査し、34%の調査木の着果を確認
県全体の作柄※は**不作**
地点ごとの作柄は、並作・豊作 0 地点、不作９地点、凶作５地点

◯低標高域（里山）

・コ ナ ラ：県内 14 地点、280 本を調査し、88%の調査木の着果を確認
県全体の作柄※は**不作**
地点ごとの作柄は、豊作 2 地点、並作 3 地点、不作 10 地点、凶作 0 地点

※作柄（実り量）の多い順に、豊作（密に着果の木が 50%以上）　＞並作(密に着果の木が 25～50%)
＞不作（密に着果・疎に着果の合計が 25%以上）　＞凶作（密に着果・疎に着果の合計が 25%未満）

○県全体の作柄と年次比較　　豊：豊作、並：並作、不：不作、凶：凶作

樹 種	R5	R4	R3	R2▲	R1▲	H30	H29	H28	H27	H26▲	H25	H24	H23	年次比較
ブナ †	凶 1	不 23	並 28	凶 0	凶 0	不 12	不 16	凶 1	不 17	凶 0	並 25	凶 0	豊 84	H23>R3>H25>R4>H27>H29>H30>H28=R5>**R1**>**R2**=**H26**=H24
ミズナラ †	不 1	並 27	不 5	不 6	凶 1	並 41	不 22	並 29	不 7	不 4	不 14	並 28	並 26	H30>H28>H24>R4>H23>H29>H25>H27>**R2**>R3>**H26**>**R1**=R5
コナラ †	不 19	並 33	不 17	不 5	不 6	不 33	並 32	不 13	不 8	不 10	不 17	並 32	並 30	R4=H30>H24>H29>H23>R5>H25=R3>H28>**H26**>H27>**R1**>**R2**

†：作柄の下の数値は県全体の調査木における密に着果した割合（%）
年次比較は、「密に着果した割合」の%順に記載。　▲ H26、R01、R02 は、秋にクマが大量出没した年

２　夏季の出没状況

・今年の６月～８月の出没件数は、過去５年と比較すると昨年に次いで少ない出没数であり、人身事故を引き起こす危険性の高い大胆な出没（集落内でや家屋侵入）や出没数が８月下旬に増加するなどの傾向は見られていない。

３　秋以降の出没予測に関する現時点での総合的判断

・本年は、クマの主要な餌となる「ブナが凶作であり、ミズナラが不作であり両樹種ともに着果不良」の作柄であり、大量出没年となった令和元年と同程度に不良である。

・このため、集落周辺の里山に恒常的に生息しているクマに加え奥山に生息する個体が、餌を求めて集落に大量に出没する恐れがあり、警戒が必要である。